

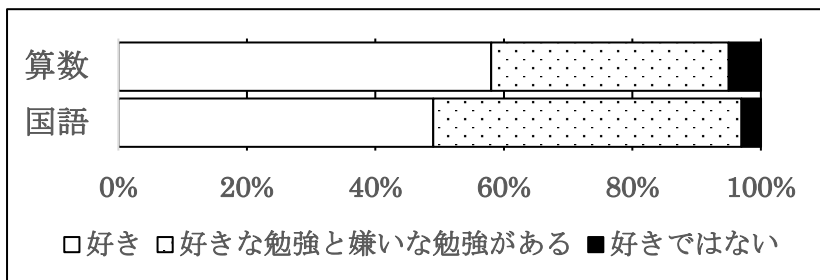
『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーその6

後期の学校生活が始まりました。南が丘小学校では、前期の児童の実態等を把握し、後期に向けた学力向上に向けたプランを全教職員で確認しております。

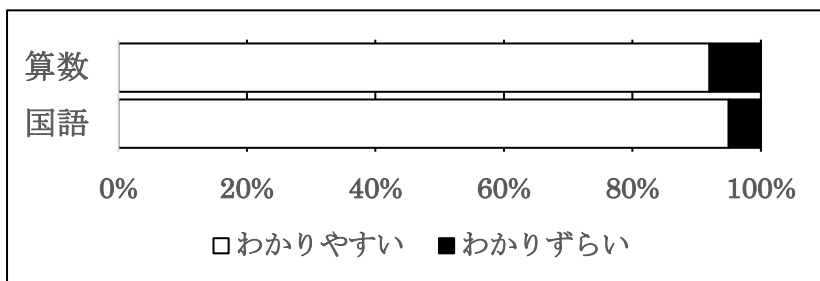
【学習状況・日常生活】

◎ 南が丘小学校研究部アンケートより

算数・国語の勉強は好きですか？



算数・国語の勉強は、わかりやすいですか。



- グループでの話し合いや発表や辞典等で知識を得ることを好む児童が多くなった。
- 児童の読書に対する関心が高まってきた。
- ▲音読、作文、視写、自分の考えたことを発表するなどの活動を「好きではない」と回答する児童の割合が高かった。
- ▲各学年に少数であるが「授業がわかりづらい」と回答する児童がいる。更なる授業改善の必要性となる。
- コース別の学習形態の定着により、コース別学習形態の肯定的な児童の意見が多くなった。

◎ 全国学力学習状況調査児童質問紙より

	全道比較	全国比較
自分には、よいところがあると思いますか。	高い	高い
家で学校の宿題をしていますか。	高い	高い
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	高い	高い
家で予習・復習をしていますか。	低い	低い
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。	低い	低い

- 昨年度と比較して「自分にはよいところがある」と肯定的評価をする児童の割合が高まった。
- 定期的な生活リズムチェックシートの活用(養護教諭や江差中学校トライアングルサポート)で、家庭での規則正しい生活習慣(学習、生活)が身につけてきている。
- ▲宿題など与えられた課題は確実にできるが、自ら課題を見つける点については課題が残った。
- ▲新聞を読む習慣が少ない。

これらの結果を受けて



○授業改善を目指した校内研修や授業評価の充実

- ・国語科におけるT T等の複数指導体制を活かした「主体的、対話的で深い学び」の授業実践。

○補充的な学習の時間の位置づけ

- ・「読む力」の育成を重視した全校での計画的な朝学習の時間の設定等。

○個に応じた指導の適切な実施

- ・学級担任とT T担当教員による少人数指導や習熟度別指導を行い、授業時間におけるきめ細かな指導と評価の一体化に努める。

○読書活動の充実

- ・言語能力等の資質能力の向上を目指し、計画的で継続的な読書活動の充実。